

**新任の先生の紹介**

4月より毎週水・木曜日に勤務することになりました。土光利彦と申します。専門は外科です。

外科の業務の過程で手術不能な癌患者に対して、外科医は補助療法（化学療法や放射線療法）以外あまり注意を払わない傾向があり、私は手術や通常の診療業務と並行して末期医療に携わってきました。末期癌患者も老衰も終末期という点では同じという考えを持つようになりました。老健の主体は介護とリハビリですが微力ながら協力させていただきますと思います。

### 新任の先生の紹介



さくらおこわと誕生日メニュー

## 郷土食

H27年から不定期に昼食に郷土料理の提供をさせていただきます。一部ですが紹介していきます。



チキン南蛮 宮崎県



ショウガご飯 高知県



茶がゆ（芋がゆ）山口県



五平餅 長野県



## イベント

2月4日（月）に通所リハビリテーションで節分の行事レクレーションを行いました。職員が鬼となり、利用者さんに豆をまいて頂きました。みなさん、思う存分に豆まきを楽しんでいました。

**編集後記**

改元が行われ5月1日から新しい時代「令和」が始まりました。平成は多くの自然災害に見舞われた時代だったと思うと穏やかな平和な時代が来ると良いですね。



春の節句に合わせ施設長の伊澤妙子先生が手書きの友禅染で書いた満開のしだれ桜の着物を展示致しました。見所は正面のおしどりと裾を返した部分にあるスマイルと変わり結びの帯です。



### 友禅染着物

# 広報いずみの

KOUHO IZUMINO

平成22年創刊

夏の気配が少しずつ濃くなってきた今日この頃、お変わり無くお過ごしでしょうか？今回は食に関する話題や最近のいずみの様子などお伝えしてまいります。

### 低栄養リスク改善の取り組みについて〜具体的事例から〜

2018年11月号では、いずみにおける低栄養リスク改善の取り組みについての概要を掲載致しました。今回はいずみでの具体的な取り組みをご紹介します。

新規利用者さんは、かかりつけ医の情報提供からA1b（アルブミン値）2.5g/dL（基準値は4.0g/dL以上）と低く、ご家族からも自宅での食事が少ないとの情報でした。入所時のBMI（体格指数）は21.4と標準範囲内でしたが、血液検査の結果では栄養状態の指標となるA1b値2.4g/dLと低く低栄養リスクが高いと評価されました。

医師からの低栄養リスク改善指示により、医師・管理栄養士・看護師・リハ職員・介護職員で共同して栄養管理会議を行いました。会議で、栄養状態があまり良くなく貧血状態が確認されたため、貧血食として栄養補助食品を追加し、エネルギー・蛋白質・鉄分などの栄養強化を行うこととしました。また、食事の形態や嗜好など現在の食事内容が本人に適切であるのかや、食事場面の観察や摂取量の確認を週5回以上行う計画もしました。その上でA1b値3.0g/dL以上を目標としました。これらをご家族に説明し同意を得た後、計画を実行しました。

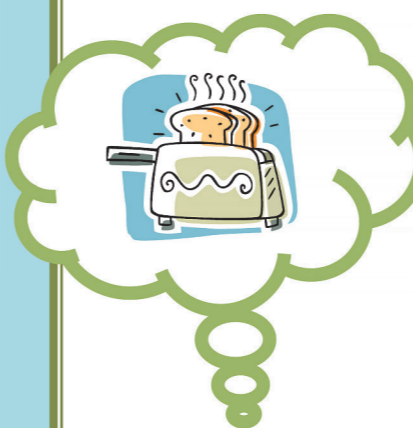


ホームページもご覧下さい

老健いずみの

検索

介護療養型老人保健施設 いずみの  
〒386-1106 上田市小泉72-1  
TEL0268-26-6600 Fax0268-26-6615  
通所リハビリテーションいずみの  
TEL0268-26-6650  
いずみの居宅介護支援事業所  
TEL0268-26-6680  
訪問看護ステーションやまびこ  
TEL0268-26-6640  
鹿教湯病院訪問リハ塩田出張所  
TEL0268-26-6625



結果、入所後は食堂の雰囲気や自宅とは異なる環境も影響してか、毎食全量摂取することができました。ご本人に味や食事の形態、硬さ、量など伺うと「毎食美味しく、つい食べてしまう」といった声も伺えました。

計画を開始し、1ヵ月後に血液検査を実施したところ、A1b値2.4g/dLから3.0g/dLへと改善。そのため低栄養リスク改善計画は終了となりました。その後も食事摂取は良好です。現状の食事が摂取できていれば栄養状態は維持できると考えられます。

お年を召されると食が細くなる、栄養の吸収が悪くなるなど栄養不良が生じやすくなります。栄養状態の維持・改善を図りながら、姿勢や物品などの検討、美味しいと感じていただける雰囲気や食事を提供していかれたらと思います。